

17匹の非力な猫たちの命がかかっています！

“9人のボランティア達が騙され、保護した猫を取られました”

今後、同じ犯罪が起きないように、また、取られた猫を救出するため、どうか大阪地方検察庁へあなたの署名を送ってください。

事実:

氏名のイニシャルがMKと言う女性が2ヶ月半の間に、野良猫保護活動に一身をささげている9人のボランティア達から17匹の猫を引き取っていたのです。M.K.はずる賢く、それぞれのボランティアに電子メールを送って近づき、あたかも素晴らしい里親になるかのように演じました。MKは猫たちの面倒を良く見る、そして引取り後は猫たちの様子を定期的に報告することをそれぞれのボランティアに約束しました。しかし、一旦、猫を引き取ると連絡は途絶え、実質上、MKは猫たちと共に行方不明となったのです。と言うのは、MKはオートロック完備のマンションに住み、猫たちを返して欲しいと要求するボランティア達からの電話、電子メール、訪問に一切、返事をしないのです。また、万一、MKが返事をするのであれば、猫たちは病気の為に死んでしまったと応えるのです。勿論、それは彼女の嘘です。更に、MKは最近引越しし、連絡先も変更してしまいました。現在までにこれらの9人のボランティア達がMKに騙された事を知りました。しかし、彼らの17匹の猫たちの他に、合計10匹の猫がMKの家で目撃されていることがわかりました。これは、発覚した9人と17匹の他に沢山の猫やボランティア達がMKの犠牲者となっている可能性を示唆しています。今回、犠牲者としてわかった9人のうちの7人が彼らの17匹の猫たちを取り返すべくMKを告訴しました。しかしながら、犠牲となったのが猫であるため、このケースが人間に起きたケースと同じ様に深刻に取り扱われない可能性があります。ですから、猫たちを救出するために大阪地方検察庁に早急に更なる捜査を行ってもらおうよう、そして今後こういった非道な事が起きる事を止めるためにMKを厳罰に処罰するよう促す為、あなたの助けが必要なのです。

事件の背景:

日本では一般的にボランティア達は個人的に野良猫の救出と保護の活動を行っています。ボランティア達は、保護した野良猫の去勢・避妊手術、予防接種、そして他に必要な医療費を自己負担しています。里親に引き渡す際、保護した猫たちを大切に育てて欲しいと依頼するだけで、お金は要求しません。また、状態の悪い環境の人に猫を渡さない為に、猫を実際に引き渡す前に里親候補者と会って話し、また、引き渡す際には、里親の話しが本当かどうか確認する為に、それぞれのボランティアが里親の家へ猫を届けるのです。勿論、これら9人のボランティア達も自分たちでMKの元へ猫を届けました。しかし、彼らはそれぞれ別の時間、日にちにMKの家を訪ねたのです。それがこの事件、MKの嘘の発覚を遅らせることになりました。何故なら、それぞれのボランティア達はMKが他のボランティアからも同様に猫を騙し取っていることなど知る由もなかったからです。MKは善人を装い、またボランティア達をMKの家に招き入れたので、9人のボランティア達は17匹の猫をMKに託してしまったのです。MKは、保護した猫たちの幸せだけを望んでいた9人のボランティア達を欺き、彼らの善良さに付け込んだのです。

どうか、署名用紙に署名して、用紙を大阪地方検察庁へ航空便にて郵送して下さい。

貴方の署名は大きな助けとなります。

送り先:

〒553-8512

大阪市福島区福島 1-1-60

大阪地方検察庁 特捜部 御中

「猫大量詐欺事件」

JAPAN

備考:

米国から航空便は通常の封筒のサイズで送る場合、切手代が80セント必要です。

米国から日本まで航空便で通常、郵送には最低、一週間かかります。

封筒には、英語で日本(JAPAN)、そして航空便である(via air mail)事を記載してください。

10月31日までに届くよう、送ってください。